

2025
9.1
No.1148
広報
はむら

愛情ギュッとず〜っとはむら

子ども国際交流音楽祭 合唱団参加者・歓迎演奏出演者募集

令和8年2月11日(水・祝)にゆとろぎ大ホールで行う「子ども国際交流音楽祭」に出演する合唱団の参加者と、ウィーンからの出演者への歓迎演奏を行うグループを募集します。

合唱団

練習日時 10月12日(日)～令和8年2月1日(日)の日曜日、午後2時～5時(全10回)
会場 プリモホールゆとろぎ
対象 市内在住の小学校4年生～18歳以下で、練習と本番に参加できる方
定員 50人程度(申込順)
講師 岡部 武彦さん(子ども国際交流音楽祭音楽監督)

歓迎演奏

対象 音楽大学などの学生または卒業生で、西多摩地区在住・在勤・出身の30歳ぐらいまでの方
※なるべくアンサンブル編成で申し込んでください。
※音楽監督による審査があります。
※詳しくは、市公式サイトを確認するか、問い合わせてください。



▲詳しくはこちら(市公式サイト)



▲申込フォーム

主催 子ども国際交流音楽祭実行委員会(羽村市・奥多摩町・檜原村・昭島市)

申込み・問合せ 9月26日(金)までに、右の申込フォームまたは直接、プリモホールゆとろぎへ

☎570-0707(午前9時～午後8時。祝日以外の月曜日休館)

||||||| さまざまなことにチャレンジしているはむらのすごい人を紹介! |||



ふなもと 莉桜さん (16)

「翼の会・夜の部※」の日本人スタッフとして、外国人住民に日本語を教えるボランティア活動中

※「翼の会・夜の部」…羽村市で活動している日本語学習ボランティアグループ。詳しくは翼の会ウェブサイトへ▶



「翼の会」メンバー紹介
ジーワ-さん(29)
翼の会で日本語勉強中!

友人の紹介で24歳の時にインドから来ました。今はエンジニアとして働いています。日本語能力試験で一番難しいN1に挑戦中です。職場では仕事のことしか話さないのが、翼の会の皆と話すのが楽しいです。

日本に来て、毎日同じ時間に電車が来て、乗っている人もだいたい同じなのに驚きました。羽村は人が多すぎなくていいですね。鳥や虫の声もいいし、富士山も見えます。好きな食べ物? カレーとたこ焼きです。

「小学校2年生から5年間アメリカに住んでいました。日本に戻ってきて、英語力が役に立つことがないか調べて、翼の会を見つけました」
莉桜さんは高校1年生から「翼の会」の活動に参加しています。生徒さんとの関わりの中で、その自由さに文化の違いを特に感じる人が多いとか。
「活動の日、『今日は気分が乗らないから』『雨だから』という理由でお休みしたりします。自分の気持ちに正直というか(笑)。良い悪いではなく文化の違いだと思えます。あと、服装には驚きます。真冬で私がダウンを着ているのに薄着。寒くないって言うんですよ」
莉桜さんの笑顔は、その違いを当たり前に受け入れています。
「アメリカで私が住んでいた地域は日本人が少なく、学校では偏見の目で見られることも多かった。日本人はお米しか食べないとか、

お弁当におかずがいろいろ入っているのが気持ち悪いとか言われて」
コミュニケーションを取って、お互いを理解することの重要性を実感したそうです。
翼の会の活動の魅力は「担当している生徒さんが、私が伝えたことができるようになる」と「レッスンが身につけている」と嬉しくなります。
日本語を教えるだけでなく、生徒さんの国の文化や伝統を教えるのも楽しいです」
翼の会の活動は大学に行っても続けたいと莉桜さん。「将来はこの会で培った異文化理解の力を生かして、国際的に活躍できる仕事につきたいと思っています」
活発で勉強熱心な莉桜さんの、今後の活躍が楽しみです。



▲翼の会・夜の部 活動風景



広報はむらは再生紙を使用しています

市公式サイト



羽やすめ



X



Facebook



Instagram



YouTube



LINE

